

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	第3回 嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会	
開催日時	令和5年3月28日(火) 14:00~16:00	
開催場所	嬉野市役所(塩田庁舎) 3-2会議室	
会議の公開可否	☑・不可・一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	渡利委員、坂口委員、田島委員、森(四朗)委員、永田委員、森(聡子)委員、久野委員、尾形委員、宮崎委員、田中(昌弘)委員、前田委員、川原委員、中村委員、田中(均)委員、諸岡委員
	事務局	企画政策課長(松本)、同企画政策G主任(池田)、総務・防災課主任(辻)
	その他	東亜建設技術株式会社(4名)
会議の議題	第3回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討委員会における委員からの質問について(回答) ・第3回塩田庁舎等利活用検討委員会 資料 ~塩田庁舎について~ ・塩田庁舎等の利活用に関するアンケート調査票(案) 	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会（第3回）		
内 容	塩田庁舎に関する概要、嬉野市の上位計画、アンケート調査票（案）の内容説明		
審議経過	事務局	<p>本日は、年度末で公私ともご多忙の中にお集まりいただき誠にありがとうございます。ただ今から、令和4年度第3回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会を開催いたします。</p> <p>それでは、次第に沿って委員会を開催したいと思います。委員長挨拶ということで、渡利委員長よりお願いいたします。</p>	
	委員長	<p>皆さん、こんにちは。本日で当委員会は3回目となります。1回目は委員会のあり方ですとか、どういったスケジュールとか、そういった話と事例について、2回目は前橋工科大学の堤準教授による具体的に足を踏み入れた事例のご紹介がありました。そのなかで、まちづくりというのは市民の皆さまの力が重要だということを皆さん学ばれたかと思います。本日3回目、いよいよ来年度は本格的な議論になると思いますが、ますます皆さまの闊達なご意見を賜り、この委員会を盛り上げていければよろしいかと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>	
	事務局	<p>本日の協議事項に入ります前に、第2回の委員会の際、委員からご意見をいただいておりますので、その件について回答いたします。</p>	
	事務局	<p>年度末のお忙しい中、当委員会にご出席いただきまして、私のほうからもあらためて御礼を申し上げます、よろしくお願いたします。それでは早速ではございますけれども、第2回の堤先生の講演会の時に、委員から今後の塩田庁舎等利活用に向けたスムーズな進行という部分で、塩田町民の皆さまのご理解の部分で質問をいただいたところです。本日の資料の中に文書をお配りしております。私のほうで読み上げさせていただいて、内容のご確認を頂きたいと考えております。それでは、大きく2点のご質問をいただいていたかと思えます。まず1点目ですね、現塩田庁舎周辺および、その幹線道路周辺の浸水対策はどうなっているだろうか、といったところでございました。</p> <p>（1. 現塩田庁舎周辺及び幹線道路の浸水対策について） 資料（第2回塩田庁舎等利活用検討委員会における委員から質問について（回答））を見ながら説明</p> <p>それでは、二つ目の項目です、市庁舎を集約する、行政機能を集約するということで、周辺事業所への影響の調査についてはどうだろうかというご質問でございました。</p> <p>（2. 市庁舎集約に伴う周辺事業所等の調査について） 資料（第2回塩田庁舎等利活用検討委員会における委員から質問について（回答））を見ながら説明</p> <p>以上、回答とさせていただきたいと思えます。</p>	

		よろしいでしょうか。
委員		はい。
事務局		それでは、次第3の協議事項になります。以後、委員長お願いします。
委員長		それでは、協議のほうに入ってまいりたいと思います。本日の協議事項につきましては、2項目用意されております。次第にあります、(1)塩田庁舎等利活用に係る条件の整理について、事務局からの説明をお願いいたします。
事務局		(塩田庁舎等利活用に係る条件の整理の説明) 資料(第3回塩田庁舎等利活用検討委員会 資料～塩田庁舎について～)を見ながら説明
委員長		ただいまの事務局の説明において委員の皆さまからご意見、感想もしくは質問等があれば、挙手をお願いします。 よろしいでしょうか。
委員		今までの現状を伝えていただいたが、塩田が3地区、久間、五町田、それから塩田とか、住んでいる人たちの温度差があり、久間と五町田に住んでいる人が嬉野庁舎まで行くのに、車の免許を返納した方にとっては、必ず塩田庁舎まで出てきて嬉野庁舎まで行かなければいけないという面があって、久間、特に五町田の方は、嬉野庁舎一庁舎ということはもう決まったことで、それに従おうとしても、塩田庁舎の役割というか、こういうふうにして、さらに活気あるものを作るというのは当然必要なことだと思う。ただもう一つは役所としての機能の部分で、どういった機能が残されるかというのは、当然市民の関心の中には必ず出てくると思うので、全てなくすのではなくて、リモートとか結構流行ってはいるけれども、温度差があるというのは一つの大きな問題点になるので、塩田庁舎というところでは、そういう従来の役所としての機能も少しは残して欲しいなというのがある。それで、どんなものが残されるのかということが見えないので、ちょっと質問したところです。みんなが寄って、いろんな活気ある所を作るというのはもちろん賛成なんですけど、人によってはわざわざ一日かかって行くのを、どうしても便が悪いからそういうふうにはいかない。そういう困っているという事もあるので、塩田町の役所としての役割を教えてください。
委員長		事務局からお願いします。
事務局		前回は塩田庁舎がどういった形になるのかと、窓口機能に関して、何かを残すのかという議論になったとは思っています。その中でも塩田庁舎をどうやって活用していくかと、窓口機能をどうするかという部分は非常に重要なことだと思っています。ここはまず、現在分庁方式でやっている部分、今の行政体制ですけれども、それぞれ課があって、完結しない業務がたくさん今の時点でもございます。ここで逆に不便だと、一庁舎になって不便だと言われる方もありますし、逆に二つになる分が一つになって利便性が高まるという考えの方もいらっしゃいます。そういったところも考慮しながら、今考えている分、決定ではなく、これから設計等も行いますし、併せて市役所の行政改革というのと一緒に図っていかうと考えております。その中で、現塩田庁舎を活用する窓口という部分は今、現在の受付とか、相談とか、そういったものより利便性を高める、逆に便利になったと言ってもらえるような形の行政窓口サービスを実現していこうと考えておりますので、何かを残す、何かを引き上げるということかではなくて、今、窓口をやっている部分は、塩田庁舎でできるというような部分を、先ほどちょっと、委員さんから言われたように、リモートを活用するとかです。塩田庁舎に来てもらって、本庁とのつなぎです。すぐ相談ができたりとか。でも、それでは不安があるという部分は少しありますので、今考えているのは塩田庁舎に案内役みたいな、コンシェルジュ的なですね、受付とか、相談とか、いろいろな分野に関して、そういった案内ができる職員の配置とか、そういうところを考えていますので、今、お話しできるのはですね、今の窓口機能、相談機能を低下させない。以前は維持するというような言い方を

	<p>していましたが、より便利にするというような考え方に立って整備していこうと考えております。</p>
委員	<p>一応、塩田のほうの産業で言えば農業、それから福祉のまち塩田もよく言われるところだが。だから、その中でも特徴があるというものは利便性の中でも活かせる立場になっていかないと、返納する人がこれからも出てくるわけなので、不便を感じさせるといのは一番注意しなければいけないことかなと思う。そういうことで、窓口機能とか相談とか、利便性のあるところに大いに期待している。</p>
委員長	<p>他にご意見等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど言われたように、住民が不便にならないようにということを考えていった時に、2040年に65歳以上の人口は40%以上になる。もう、半分近くの人が免許の返納を考えないといけないということで、2040年はそんなに先じゃない。庁舎の寿命とかいろいろなことを考えたら、こういう何億のお金が動く事業の時に、コミュニティの機能を強化するというのも併せて考えていただいて、その末に塩田庁舎にどんな行政機能を残すのかということも出てくるのかなと思っているところである。コミュニティは地区に一つずつあるので、そこまでいけば何とかかなということでは、地域の方の足がないという時ちょっと乗せてもらって、頼みやすいとか、近所の人と一緒にいこうとか言えるような、久間から嬉野まで一緒に行きましょう。そういうことであれば、コミュニティにも職員はいるけど、市の職員も配置する。これはもともと計画もあったことだと思っている。そういうことで、常時二人いるとか、受付をして相談をしなければいけない。その辺はもう技術的なところで、リモートで本庁の担当者とちょっと面談しませんかとか、簡単な住民票とか、そういうものはすぐにできますよと。そして、専門的な話になって相談したいというのもリモートでできますよと。そういうふうなことをしたら相当便利だなと、地域の方が幸せだろうと思う。でも、逆に庁舎のほうで、塩田庁舎の機能として、こんなことをしますと決定してしまった後に、もう、コミュニティのほうをもっと地域のために行政的なことができる作業が難しいだろうと思う。その辺は一緒に考えていただいて、コミュニティのほうでできるようなことを増やしたら、地域の方にいろんな行政的なことの施策もしやすいのではないかなということを考えているので、私がコミュニティにいるわけではないが、そういう目的でコミュニティが作られたらと思う。こういう大きい金額を動かすときにしないで、次はもうできないかなと思うので、そこまで考慮していただきたいと思う。</p>
委員長	<p>事務局、何か今のご意見に対してございますか。</p>
事務局	<p>合併当初からですね、コミュニティ組織の充実ということで、委員がおっしゃったような、構想といいますか、そういった部分はあったかと思えます。合併してから20年弱という部分で、コミュニティ活動を各地区で推進していただいた中で、現時点はそういった形になっていない理由はいろいろあります。各拠点のあり方もそれぞれ今ちょっと違って、久間コミュニティと轟のほうは市が整備を行って、専用のコミュニティセンターを持っておられますけれども、そういった部分じゃないところもあって、環境の部分ですぐにそういった部分の取り入れができるかできないかといったら、ちょっと難しいんじゃないかなということを考えています。近くにですね、拠点がそれぞれコミュニティ単位であったら非常に便利だというような声は届いておりますので、市役所に来なくてもよいというような手続きのやり方も推進しているところもありますので、一緒に考えていかないといけない部分だとは思いますが、現時点の新庁舎の建設に併せて、そこまで含めたところで考えてはどうだろうか、というような話だと思っておりますけれども、現状はですね、そこまでの計画になっていないところがございますので、今、それでやっていきますとはちょっと言えないところはあるのかなと思っております。</p>
委員長	<p>私から一言何ですが、この委員会資料の5ページに立地適正化という計画が掲載されています。嬉野市様はですね、まちづくりの中に都市計画があつてで</p>

	<p>両方行かなくてはいかんということも結構あった。そうじゃなくて、一か所で済む、特に今から高齢者が増えるし、それから特に久間地区においては塩田で乗り換えないと嬉野庁舎に行けない、そういうものもある。だから住民に密接したサービスを塩田庁舎でも受けられる、そういう体制を作ってほしい。それをまた、次回以降の問題だろうと思うけど、そういう観点で、塩田庁舎にある分だけではなくて嬉野庁舎にある分も、塩田の住民にとってこれはやっぱり住民サービスとして、身近に置いておくべきものだというものについては、置いてほしいと思う。</p>
事務局	<p>今委員がおっしゃったことは、市民説明等々を通じてですね、前の構想を立てる段階から、ご心配していただいた部分ですので、行政サービスの維持ということではなくて、より、今のサービスを超越するような形での行政サービスの提供ということで考えています。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員長	<p>ほかにご意見等ございませんでしょうか。なければ、次に、(2) アンケート(案)の調整について、事務局の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(アンケート(案)の調整内容の説明) 資料(塩田庁舎等の利活用に関するアンケート調査票(案))を見ながら説明</p>
委員長	<p>ただいまの事務局の説明について、委員の皆さまから何かご意見ご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>大変良いアンケートを作っているが、申し訳ないが、私たちは答える欄がない。世帯主でもない、高齢者でもない、子育て世代でもない、中高生でもないという世代もいるはず。だから分ける必要があるのかなど、年代別で分けていただいたほうがよろしいかと思う。高齢者というのが65歳以上って書いてあるが、65歳以上の方が果たして自分が高齢者と思っていच्छるのか。年代で分けたほうが書きやすいのではないか。</p>
委員長	<p>該当しない方が発生するのはちょっとよくないですね。</p>
委員	<p>アンケートした上に苦情が出るという。</p>
委員長	<p>事務局のほうから何か。それは検討するというところでよろしいですか。</p>
委員	<p>若い方も結婚してない方の割合は多い。まちの私たちの活動をしていただく方も入らない世帯だから苦情が出ると思う。</p>
委員長	<p>アンケートの改良ということでよろしいですか。</p>
事務局	<p>他の方のご意見もあればお願いします。</p>
委員長	<p>一旦今のご意見はここで止めて、他のご意見は。</p>
委員	<p>世帯主さんとか分けられているが、中高生の質問に対しての選択の回答はちょっと難しんじゃないかと思う。例えば「塩田庁舎周辺でどのような地域活性機能が必要だと思われますか」とあるが、中高生が企業や店舗の誘致による活性化と答えるかどうかと思うと、なかなか少し難しいかなど、こういうを行うのであれば、もう少し噛み砕いたところは必要じゃないかなということと、あと、これを例えば中高生が果たして書くかどうかというところが少し疑問。僕だったら書かないかなと思うけど、であれば中学生のところに行って、全部アンケートを書いてもらったほうがまだ回収できるのかなど。やっぱり回収率が高くないとアンケートを取る意味がないと思うので、そこは気になっていた。</p>
委員長	<p>まずは質問を全部一回受け付けましょうか。先ほど手を挙げられた方。</p>

委員	先ほどの意見と一緒にでした。対象に入っていない。
委員長	他にご意見等があれば。
委員	世帯主自体も高齢者は高齢者の考え方を把握しやすい、子育て世代も考え方は把握しやすいが、子育て世代だけ、世帯主という人もいる。高齢者だけ世帯主もいるし。世帯主と回答される方が結構多かったですら、世帯主の考えというのは何も特徴がないというか、何のために集めているのかよくわからない。後の三つは具体的に、ああ、そういう世代はこうなのかというのがわかるけど、世帯主のバラつきが大きいのではないかなということ考えた。
委員長	まとめて事務局のほうに回答していただくとして、他にご意見あれば。
委員	同じ意見だが、私は世帯主で高齢者に該当する場合はどういうふうを書くのか。世帯主で書く？世帯主で書くのであれば、先ほど委員さんがおっしゃったことは正解かなと思う。該当しない人がおそらくおられると思うので、子育て世代というのがどこまでが子育て世代なのか、64歳までが子育て世代なのか、ここは曖昧かなと思う。
委員長	他にご意見ございませんか。
委員	中高生ということを書いてあるが、子供達同士でも話し合ってもいいように、学校にそのアンケートをわかりやすい形で投げかけてもらうほうがはっきりするのではないかな。こういう形だけじゃ話し合いの相手がいないし、この内容自体がわからないままで回答するのは難しいのかなと思う。だから各組織を利用する、家庭でするやつと、そういう組織を利用するやつというのがあったほうがいいのではないかな。そうしないとこのままじゃ書きにくいかなというのがある。
委員	区長さん達に言うのが4月10日の行政区長会議なのかなと思うが、それに合わせるのが一番いいと思うが。その辺を整理されて、どうするのか。まずアンケートで悩んだ時には、町のほうに来るのではなくて、区長さんに相談があったりするるので、少しやっぱり理解してもらう工夫をする必要があると思う。
委員長	他にごございませんか。
委員	夫婦であっても、意見が違うことも結構ある。私はこう思う、私はこうって言って、どちらの意見を優先するかということになるので、書きたい人はみんな書けるような形にしていたほうがいいのではないかなと思う。
委員長	他にごございませんか。今の質問をまとめて事務局お願いします。
事務局	世帯アンケートというのがスタートだったので、当初は世帯主だけだった。前回お母さん達の意見も反映させてということがあったので、世帯主以外という形を設定していたんですけども、今言われたような書けない人、設定上はちょっと盲点があったかなと思います。これは変えなければいけない。先ほど言われたご夫婦の意見が違うという、世帯主が書いたもの、それ以外でも回答ができるというところで救済するつもりだったんですけど、限定しすぎました。それともう一つ中学生高校生に対して質問が難しいというのは、懸念はしていたんですけど、中学生と高校生に対して、学校に対してアンケートを取るという形もあるのかなと思っていました。同じ設問をして丸を付けるというところが回答としては一番シンプルなので、これは検討します。
委員長	学校に赴いた場合は一日で終わりますので、書いてもらって回収すればいい。可能であればということですね。
委員	子供たちの多様な考えを引き出すというのも一つ、これからを担う子供たちなので活かす方向で考えるのは塩田町の大きな財産になると思う。だからそう

	<p>いう視点でいけば、型にはまることよりも、各学校で討議できる部分もあるから、もっと広い面でのつながりになるのかなと思う。</p>
委員長	<p>中学生は嬉野市の校区でいいけど、高校生は他の自治体さんから来られている方もいるので、高校生は難しそうですね。</p>
委員	<p>中高生を小中学生としではどうか。</p>
委員長	<p>小学生だと一度レクチャーが必要。一人で役所を利用することがないのかなと。</p>
委員	<p>以前、街並みの中でワークショップをされたが、高校生と一般の方と。やっぱり高校生はすごい意見を持っていた。一部だと思うけどすごく考えている方がいらっしゃる。だからそういった形に考えてもらってというのは、今後すごく役に立つのかなという気はした。</p>
委員長	<p>そうなるそうですね、視点は住んでいる方ではなくて、通っていて嬉野市に対してどうですかと聞くのか。すぐそばに高校がありますので、その高校にとってその町がどうあってほしいか。質問の中身がちょっと変わっていく可能性はでてくるのですが、それは事務局でどう考えますか。</p>
事務局	<p>今回はワークショップを実施して、中学生以上に公募をかけますので、そういった同じ仕組みを作れると思っています。</p>
委員長	<p>子供たちはアンケートをポンと渡しても、なかなか答えきれないのかな、特に今回の質問に対しては委員がおっしゃったとおり、非常に難しいような内容にもなっていますので、ワークショップにある程度期待するような形で、アンケートで云々ということではなくてもいいのかなと。高校生に関しては別にここに住んでいない方でも、例えば嬉野高校の子だったらいいよとかで間口を広げればいいのか。ちょっとそこは今後の話とは思いますが、アンケートは逆に小中高生を外されてはどうでしょう。大事な意見なので、ワークショップでやるとか、あらためて必要に応じて中学生には別途聞くとかで、世帯に配るアンケートからは外されてみてはどうですか。むしろ中途半端な回答が来て皆が舞うような回答が来そうな気もします。やっぱりちゃんと話をして、これからの嬉野市だよ、塩田庁舎だよ、大人はこういうこと考えているんだよ、という感じで、君たちはどう思っています？みたいな。そうするとワークショップが非常に有効になりますので、アンケートは先ほどおっしゃったように、世代別とかちょっと工夫していただいて、中学校は多分学校でやったほうがいいのかな、中学校は全部地元の方なのでいいのかな、というところで今後の委員会の中で考えられてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>中高生に関しては、今のままだと中途半端に集まってきそうな感じですね。</p>
委員長	<p>委員のおっしゃったとおり、子供たちの意見は非常に重要なというのが確かにありますし、ましてやこの子供たちは残るぞと思うような意見があればいいと思います。それではアンケートの対象についてはとりあえず事務局が検討されるということによろしいですか？そしてもう一つ、行政区長会へのレクチャーという話がございましたが、それについては事務局、ご予約等はございますか。</p>
事務局	<p>次の区長会が4月10日に予定をされていますので、その際にアンケートの趣旨を含めて配布の依頼をしたいと思います。そして各戸に配布いただいて回答をしていただくということで考えております。</p>
委員長	<p>小中学生が外れるとなると、この内容でもかまわないというスタンスでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>基本的には中学生高校生はワークショップのなかで意見を取られたほうがいい。</p>

委員長	ワークショップも工夫が必要で、大勢の方々が来るというわけでもないの で。
委員	中高生は外れる。あと世帯主、高齢者、子育て世代が分かりにくいとか、全 体的に両方ともあるよというのがあるんですね。そうすると、子供を外せば、 一世帯で大人が世帯主を含めば普通四人以内が多いと思う。もっといっちゃ る家庭もあると思うけど、基本的には四人以内ではないかと思うので、その世 帯主をそのまま残して、高齢者、子育て世帯、中高生というのを、家族①・ ②・③とされてはどうだろうか。それに、書く方の年齢については上に置いた ほうが良いと思う。そこに、年齢と性別を記入してもらおうという形であれば、 ある程度傾向がつかめるんじゃないかという気がする。そうすれば先ほどおっ しゃったように、私はここに入っていないよという人がいなくなると思う。
事務局	対象を絞らないということですか
委員	そう。絞らない。
委員長	そうなれば、書きたい中学生高校生、例えば十六歳の男って書くかもしれま せんね、分かる子は。
委員	そこは今後、高校生以下の、あるいは中学生高校生は別にワークショップで 検討しますということで、ある程度 18 歳以上と、成人以上と、成人者というこ とで限定するのか、今 18 歳が成人になっている。
委員長	そうすると、ちょっとワークショップのハードルが上がりますね。代表で呼 ぶ場合は、その子たちにちょっと学校で聞いてきてとか、いろいろなやり方 があるのはあるんですけども、ワークショップの工夫がちょっと必要になっ てくるかなとは思っています。ただ、おっしゃるとおり質問が難しいですとか、答え られるかですとか、対象の絞りが特に高校生はほしいんだけど、市外の方とか がいたりかになると、アンケートはやはり在住者が対象であるのと、質問の聞 きたいところはここだって作られていますので、なかなか中身を変えるのが難 しい。そうすると委員がおっしゃったように、世代と性別を書いておけばどな たでも書けます。それでアンケートをするときに、世代間分析をすればいいの かな。その辺はどうですか？事務局の考えもあると思います。
事務局	とてもいいアイデアだと思いますけど。後は書く欄ですね。ちょっと考えて いたんですけど。
委員長	今回は全町民の意見を聞きたいというのがこの委員会の中にもありましたの で、落ちることなく皆さんの意見を集められるように、ということであれば。
事務局	世帯主と世帯主以外の方が 3 枠ぐらいということ。
委員長	それ以上の住まいの方は想定しないということでよろしいですか。確認なん ですけど。4 名ぐらいですね。
事務局	そうですね。代表で書いていただいて。
委員長	よろしいですか。今のような考え方で。
事務局	子育て世代のところは、あらためて聞いたらちょっと引っかかっていた た。現役世代というのか、なんていうのか、生産年齢世代というのかその辺なん だろうかなということは思っていましたので。それと学生。生徒の指摘があり ましたけれども、確かに高校生が非常に地区外から来られている。他でアンケ ートをしようとした時も、そこは説明もかなり必要になってくる。例えば嬉野 高校に来られている鹿島とか、武雄から来られる方は結構いますので、ちょ っと私は関係ないと、嬉野市の調査でしょ？というところがありますので、今回 は全く関係ないじゃないですけども、在住者の活用、高校生活をしている間

	<p>はですね、非常に重要な説明になるかとは思いますが。その辺の説明は必要があると思いますけど。</p>
委員	<p>嬉野市の外に出ている高校生もいる。</p>
委員長	<p>なので、在住者ということであれば、もし書きたいなら自分の年齢を書いていけばいいんじゃないですかね。15 歳〇〇とかですね。逆にそういう方は積極的に関わっていきたくないと。</p>
事務局	<p>書けるような形がいいかもしれないですね。</p>
委員長	<p>そうすれば、逆にこういう方が何人かいましたという評価にもなるのかなと思います。ほかに何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>確認だが、アンケートに年代は記入をするのかということ、集計は年代別に出していただけるのかということの確認をしたい。</p>
委員長	<p>そこはクロス集計されますよね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員長	<p>地域別・世代別というのは多分取られると思います。他にアンケートの内容について、やり方も含めてですけれども、ございませんか。</p>
委員	<p>世帯主も年代が違うと思うので、70 歳なら 70 代、50 歳なら 50 代と書いたほうが良いと思う。</p>
委員長	<p>世帯主の年齢を知る必要があるのならば、世帯主と書いたうえで年齢をですね、そこは工夫していただいて。</p>
委員	<p>世帯主と書いていただいて、下に年代と性別と書くようにしておけばいいんじゃないかなと。</p>
委員長	<p>よろしいですか、事務局。ちょっと作業が増えますが、大丈夫でしょうか。よろしいですか皆さん今みたいな形で。種別で行うのではなくて年齢・性別のみで、それについてはクロス集計で正確に分析すると。それと行政区長会で4月10日に説明を行う。また、中高生に関してはあくまで在住者対象ですので、中学校は学校に行ってもいいと思うんですけど、ちょっとそれはワークショップの手前で事務局のほうで検討するというまとめでよろしいですかね。</p>
委員	<p>アンケートの設問欄に、塩田庁舎周辺の将来像についてお尋ねという設問があるけれども、このアンケートは、塩田庁舎「等」利活用だから、周辺も含めてということだったと思う。「機能についてどうなのがあったらいいですか」という設問とかはあるけど、庁舎の周辺には公民館、保健センター、図書館、歴史民俗資料館とかその辺を含めて考えるのかなと私は少し思っていたので、その辺のことについてそんなに触れてないと思う。大きなことになりすぎるのかもしれないけど、おまけに庁舎の見取り図がありましたから、庁舎だけの活用というか、そういうことだけに皆さん思ってしまうような気がするのだが。</p>
委員長	<p>一応、将来像については3ページから5ページぐらいまでは書かれてはいるみたいですが。あえて漠然とされているんですけど。先ほどこちらの資料に塩田庁舎のキーワード、「伝統」とか「歴史」とか「文化」とかというのは市の計画自体に踏まえられる中で、将来像はどうですかというのは、特に3ページ特に伝統・文化・芸術が感じられるとか、そういうニュアンス的なものの質問はあるみたいですが。それでは足りないってことですかね。</p>
委員	<p>足りないということではないが、こちらの資料は各世帯に行かないのか。</p>

委員長	行かないです。でも3ページの質問でいくと、将来像についてお尋ねしますが、伝統文化が感じられるのがいいですか、交流の場なのか、賑わいなのか、子育てに優しいまちなのか、福祉のまちなのか、次にそのなかでも伝統・文化、どういう機能が必要か。この質問3の四項目について、後ろのほうが質問されているというイメージですが。
委員	それか全体的になにか要望がありませんかというアイデアの欄があったら。
委員長	その下には自由意見を記入する欄はあるみたいです。
委員	そこに書けるかもしれないけど。
委員長	裏を返せばちょっとわかりにくいということでしょうか。
事務局	ここからまだ具体的には集約をどうするかというまではいかないので。
委員	そうですね。
委員長	よろしいでしょうか。疑問は取り除けたでしょうか。大丈夫でしょうか。
委員	はい。
委員長	事務局、これはまだ最終ではないという、もし何かあれば対応しますということですね。
事務局	はい。対応したいと思います。
委員長	他にアンケートについてございますか。
事務局	先ほど言われた、塩田庁舎以外、嬉野庁舎で利用しているサービスとか、3ページの上のところで塩田庁舎で限定してよく利用するサービスや、そういったものがありますかと限定して書いているので、そこはもうちょっとひろげてみようかなと思ったのですが。
委員	市役所でよく利用しているサービスであれば嬉野庁舎にもある。
委員	利活用の検討委員会なのでどういうふうに利活用するのかというのを話し合うというなかで、行政的な部分はどうか残すのかといった庁舎の利活用ということで思っていた。なので、庁舎利活用で地域住民がいろいろやりたいこと、行きたい場所をつくるとか、そういうもののなかに行政機能も庁舎の機能としてあるだろうと思って、そういう意見も言えるかなと思って最初は言ったけど、アンケートを見たら庁舎をどうしたいですかという、利活用についてお尋ねする中に行政的なものは何もない訳で。極端的な言い方をすれば、庁舎じゃなくなるので別の何か、何に使えば良いですかとか。それを含めて地域の振興策として、その拠点として庁舎をどう活かしますかとか。庁舎が引っ越してしまって、1回目の時にもあったけど、もう庁舎を集約したので、いろんな使い道があるというようなことを、例えば、重要だと思われる利活用で、行政機能をたくさん残してほしいというのが出てきたりするのかなと思うけど。あと、そしたら行政機能をどうするのかと。今から全国の人口が減っていく中で、交通弱者も増えていくということがはっきりとわかっている中で、昔みたいな一極集中というのは時代にそぐわないと思うのだが、そういう行政機能のあり方を検討するというのはどこかにあるのだろうか。
事務局	行政機能のあり方についてのご意見は何っています。冒頭もありましたけれども、コミュニティについてとかいろいろ実現できれば、というようなお話をいただいております。基本的には行政機能の部分は先ほどからお話ししていただきますように、手が出せないというようなところですので、あれを残してくれ、これを残してくれということを書く委員会ではないというところは一つ申し上げておきたいと思います。意見としていろいろあげていただく分については、ご

	<p>期待に応えられる形で動くかもわかりませんが。この会は、庁舎であった塩田庁舎について庁舎以外でも活用する部分での利活用ということで、庁舎ではなくなるのではなく、庁舎だけではないというような考え方で、庁舎機能が全部向こうに行き、庁舎は残らないよということではないので、そこは理解をいただきたいなと思っています。それで、どのぐらいその分が必要になるのかというのが具体的には出てきますので、そこでは議論になるかなとは思っています。</p>
委員	<p>庁舎機能がどのくらい残るかは分からないけど、その他の部分をどう使うかという検討会委員会ということか。</p>
事務局	<p>そうです。例えば、庁舎ではこんな機能を残さないといけないとか、行政部分はこれだけ残さないといけないから、ここにはそれは入らないよとか、議論の中で出てくるかわかりませんが、それはそれで、今のところは全然良いのかなと思っています。残った部分を使うための調整をしないとけないとかということは、ここでは必要ないと思います。それを考えていくのは行政のほうかなと思います。</p>
委員	<p>もしそういうことであれば、調査票の中身を見て、みんなすべて変わるんだなとしか見られないと思う。一番最初に、その、窓口機能として利便性のある庁舎の一部については、今後検討じゃないけれども実施はしていく予定、みたいな部分を書いた上で、その残りのスペースをどう活かすかというアンケートです、だったらすぐわかるのだが、これだけだったら全部庁舎が変わるものだって、だからあんたたちの考えを教えろということではかないから。私たちの抵抗があるのはそこ。だから位置づけをきちっと教えてもらえれば良いかなと思うのだが。このままだったらすべてここは変えますからというイメージとしか受け取れないので、その辺の意見は多分区長さん達からも来ると思う。そこは打ち出すべきかと思う。</p>
事務局	<p>分かりました。趣旨、意図ですね、言われる意図。ここに明記はすべきかなと思います。あと、区長会の説明の時にもここはあらためて説明を申し上げてお願いをするという形を取らせて貰うということでしょうか。</p>
委員	<p>区長さんによって言える人と言えない人もあるから、文章として残しておけばいろいろ言わなくても動いていくと思う。それともう一度だけすみません、8ページの中の、例えば図書館とかコンサート会場とか、塩田庁舎の建物の中で何故わざわざこんなものを、まあ活用例だから分かりはするのだが、周りの仕組みを壊してまでこれを入れるのかなとなってしまうと思うので、その部分の例題にしてもちょっと考えるべきかと思っている。そこと違う図書館があるのか、3階まで上がってコンサートをするのか、とかいろいろあるので、書き方によってはちょっと、と思った部分があった。近くの建物はまだいいのに、それを壊すじゃないけど、そことの兼ね合いはどうなるのかなとか。そのコンサート会場というか、そのきれいなのも10年くらい前に建てられたと思うけど。そことの兼ね合いもある訳だから、書き方も少し考えるべきかなと思っていた。</p>
委員	<p>このアンケート以前の問題で、この利活用と庁舎の建設委員会もおそらく令和5年に実施設計が組まれることは冒頭にあったけど、実施設計は概ねいつぐらいを目処に考えているのか。</p>
事務局	<p>期間的な部分もあって令和5年度中では終わらないのですが、6年の途中までかかるような。契約してからになるのですが、大体15ヶ月ぐらいを予定しています。</p>
委員	<p>それと結局、建設のほうには行政機能を含めて規模を決められると、さっき6,500㎡とかなんとか言われたが、そういう規模を設定するにしても、一定の根拠を持って決めなくてはいけないと思う。この利活用の検討委員会で、今回アンケート調査をしました、次にワークショップをしました、11月くらいにワークショップの結果はこうでした、もしその時に、庁舎に関わるようなことが出</p>

	<p>た時にそれは反映できるのかどうか、そこが重要なポイントだと思っている。そして、それが反映できないということであれば、ただ単に利活用検討委員会というのは、集まって、協議をして、こういう事例を見せてもらって、アンケート調査をした、ワークショップした、それで終わりになってしまう。アンケート調査をして、住民の意向をどういうふうにしてワークショップで議論していったら、もし何か庁舎に、庁舎建設に係ることが反映できなれば、この検討委員会の意義はほとんどない。そこをちょっと確認したかった。設計が 15 ヶ月かかるということであれば、ワークショップが終わって、ワークショップの報告が 11 月くらいになると。その時でも、こういう意向があるというのが反映できればここで議論するのは非常に有意義だと思う。さっき課長は今までの住民サービスの利便性に関しては低下しないと、より高度になるということと言われたが、例えば、今委員さんも言われたけれども、住民サービスの低下を招かないために、例えば庁舎に 30 人残しますよとか、そういう方向性が見えれば、もう少しここでの議論もできると思っただが。例えば 30 人残るとここで議論でしたら、いや、こういうのも必要だから 40 人にしてくれとか、というのが反映できるのかできないのか、結局、庁舎の一機能は今までよりも利便性は下げないということは言われているが、それが何を根拠に言われているのか私は理解できない。そこはちょっと明確にしてもらいたいと思う。そうしないと今年の 12 月頃になった時に、利活用の検討委員会で、アンケート調査したもんね、集計してこんな結果になったもんね、ワークショップで話を聞いたらこうだったもんね。こうだったもんね、で終わってしまう。ワークショップでいろんな議論が出てきて、塩田の住民にとってこういうふうにしてもらいたいというのが反映できるのかできないのか。</p>
事務局	<p>塩田の住民さんがこう思っていることを反映する反映しないその内容について、今言われているのは、庁舎をどれだけ残してもらえるかという部分を言われると思いますけれども。</p>
委員	<p>庁舎を残す、残さないとかというのは、この庁舎を残すということはわかっている訳だから。</p>
事務局	<p>機能としてどれぐらいの規模を残すかの論争をここでやるというのを中心に考えているということでは言われていますよね。</p>
委員	<p>いや、中心というより一庁舎体制になったときに、住民サービスについて、先ほど委員からも話はあったけど、今は分庁方式だから向こうに行かないといけないのを、ここで一括でまとめてできるよってなれば住民サービスの向上につながる訳だから。</p>
事務局	<p>そこは、基本設計は今から入ります。新庁舎の配置、それに伴い塩田庁舎にどれだけどうするか、基本設計の段階でいろんな部分が固まって来ると思いますので。その段階でここにお出しをする。</p>
委員	<p>それはいつ頃？</p>
事務局	<p>年末ぐらいにはある程度固めてしまいます。</p>
委員	<p>これは今年の 12 月くらいで終わりじゃないの？</p>
委員	<p>基本計画に 7 月に基本と実施設計の発注って書いてある。来年 2024 年の 9 月になると建設発注。だったらある程度調査の段階でしとかないと話ができないかなと思う。</p>
事務局	<p>設計はですね、ここには 14.5 か月って書いてあります。基本と実施をいっぺんに、契約の部分で今言われたように、令和 6 年の 9 月には出してしまいます。それから、工事の実際の着工は 11 月、12 月ということになっていますけれども、そういった計画になっています。設計が決まるということは、新庁舎の規模が確定するということになりますので、その時には、先ほど 30 人という話が出ましたけど、人数的な部分だけなのか、例えば今 300 人の市役所職員がいるとす</p>

	<p>ると、そのまま 300 人を庁舎に振り分け、新庁舎が例えば 250 人、塩田庁舎が 50 人という振り分けになるとは限りません。新庁舎が始まる時は、行革で、その時点で結構職員の数が減っていく可能性もありますので、そういったところも考慮しながら進めていくということになりますので、時期はいつ頃というのははっきり言えないですけど、塩田庁舎の窓口のあり方についてのお示しは勿論します。それを、例えば 30 人って出して、50 人足りない、100 人いないじゃないかと、はじめはそのぐらいいはないと、という交渉というか、その意見が多かったからといって、そういった形には、新庁舎で行政機能を一つにするというようなどころでいっていますので、そこは議論をしていくところにはならないのかなとは思っています。</p>
委員	<p>冒頭で課長が言われた、住民サービスの低下を招かない体制は確保できるということでのよいのか。</p>
事務局	<p>人数が何人いるかで確保できるか確保できないかとはちょっと言えないと思いますけど、そこは確保したいと考えています。</p>
委員	<p>私は久間地区だが、久間地区でも交通弱者の問題というのも相当あって、説明会の委員にも言ったけど、一極集中すれば職員の余剰人員が出てくるので、コミュニティに職員を配置して、そこで、オンラインで対応したら、高齢者達はほとんどそこで処理ができるのではないかという意見を言ったのだが。ある程度車で行ける人は 10 分か 15 分、遠いか近いかというのは個人の考え方だけど、高齢者の方たちは地域のコミュニティの中でいろいろな届けとか役所のことで来た時に、画面でできたら、それが住民サービスの根幹だと思うから。一番最初に言われた住民サービスの低下にならないという根拠がなんなのか疑問に感じている。基本設計、実施設計と進んでいくなかで、初期の意見交換とかというのが、ここにあるのかなという気が最初はしていた。でも今はほとんどオンラインで結ぶので、わざわざ嬉野庁舎に行かなくても十分可能。例えば議会なんか一般質問等はオンラインでできる。ただし、議決の際だけは議場にきて投票しろとか、そういう時代になってきているんだから、別に市長がここに居なくても、東京に居てもできるわけだから。そういう時代になっているんだから、そういうのを発表するとなれば、地域住民に一番身近なところはやっぱりコミュニティだと思う。</p>
事務局	<p>先ほどからその話を聞いて、まさにそうかなと思いますけど、今の新庁舎の計画で委員は、大きな事業をするんだからこの際一緒にそこまでいけば一番いいという意見だったと思います。今の新庁舎の建設に伴うそういった利便性の部分ではですね、計画に入っていないと。</p>
委員	<p>そういうお話を聞けば、また違うんじゃないかなって。新庁舎を何のために作るかといったら、嬉野市に立派な建物を建てるわけではなくて、やっぱり新しいこれから先の何十年かの行政機能を充実させるということになったときに、従来通りの一極集中の形をとって従来通り引き上げるところには少しだけ行政機能を持たせますよというのは、平成の大合併の時にどこでもしたことだけど、新しい庁舎を今から作ろう、基本設計をしようというのであれば、まずそういうところが最初はないといけないのではないかと。サテライトとかネット環境とか、小さく作るというのが今、絶対主流だと思う。なんで大きくそういうのを作るのかといったら、市庁舎の話になるけど今、庁舎を作るのが手いっぱい、そういう利便性のほうはそこまでいけませんと言われたら、そういうのを含めて考えることが新しい庁舎のあり方じゃないかなと思うので、言いたくなる。</p>
事務局	<p>そこは方針でもありますので、それでいきますということは、ちょっと申し上げられないというのが今のところ。そういったお話が以前から、合併の時分からあって、そういった部分を目指していこうとしたのは確かにありまして、いろいろなコミュニティの中でも会議の時でもそういったお話もいただきますし、そういったご意見があるという分は受け止めたいと思います。</p>
委員長	<p>時間も押していますが、建築的な見地からいくと、新庁舎が建ちました、20</p>

人か 30 人という人間はソフトの話なんです、この庁舎にそんなに影響はありません。人数の移動というのは間仕切りを作るとか、そういう対応で済む話なので、まずはどういうやり方、機構改革においてどういうサービスでどういう形になるかというのは、多分新庁舎のほうで検討されると思うんですね。高齢化というのも新庁舎があるからという問題ではなくて、日本全国の問題でして、高齢化、少子化、それに対して先ほど課長がおっしゃった通りに ICT を活用するとか、委員がおっしゃる通りサテライトであるとか、あの立地適正化計画というのもネットワークを重視する計画なので。拠点を作って、交通も整備して、そういったことは多分ここで検討するときは、要望は言うものももっと大きな枠でやらないといけないことですので、反映するかしないかは確かに大きな課題ではあるんですけども、まずはこの塩田庁舎というのが庁舎ではない、行政機能をもっている一つの公共施設になるという視点を持っていただいて、行政機能サービスは落ちないよ、もっとサービスの向上を試みるんだよというなかで、じゃあどういう機能が向上する行政機能とマッチするのか、ちょっと視点を変えていただいて、行政機能を残す、残すというのは非常に大事なことではあるのですが、そこはむしろ新庁舎のなかで、塩田庁舎はどう活用していくのか、行政部分の工夫があると信じてですね、ここはまず要望、視点としては、新庁舎ができた時の、この庁舎はどうあるべきか、嬉野市民にとって良いかという、まずその視点で見て、その時にやっぱり行政機能はこれだけサービスはちゃんとしなきゃ困るよと、それは人数ではなくて仕組みだと思いますので、そういったところで違う視点でのご要望があっても良いのかと。もちろんこの場で意見を言うていただくのは全然構わないと思います。皆さんでこの塩田庁舎の土地をうまく活用して、塩田のまちづくりとしてしっかりやっていこう、嬉野市全体を活性化しようというものをまずは考えて、それも含めて市民の方が幸福になる。このような形でちょっと考えていただいて、非常にわかります、ご意見。庁舎というものはないと困りますし。もっと高齢化が進んだ時に、サテライトというのは非常に重要な考え方で、コンパクトシティ・まちづくり、いろんな発想がありますので、そういったことを念頭に置いて、今後も今のような闊達な意見を頂いて議論していけば良いと思います。確かに、住んでいる方にとっては、特に高齢の方にとっては死活的な問題もでてくるかとは思いますが、そういった皆さまの思いをこの委員会でどんどん言うていただいたうえで、反映する、しないというのはいろんな事情があるかとは思いますが、少なくとも意見を言うていただくというのが大事なのかなと思いますので、今後も言うていただいいていいかと思えます。今日の話は当然議事録も残りますし、事務局のほうも意見を受け止めたと思えますので、そういった形で本日は皆さまちょっと、持ち帰っていろいろ考えをまとめていただいたら嬉しいかなと思えます。

事務局

一点だけでいいですか。

委員長

どうぞ。

事務局

先ほどのアンケートで残す機能という話があったんですけど、まず実態の把握ということで、先ほど 3 ページの上の塩田庁舎でよく利用するサービスのお話をさせていただいたんですけど、アンケートの意図としては、どういった機能が必要かという、そこを把握することで、2 ページの下の利用している施設の要望と、塩田庁舎でよく利用するサービス。ここでどういったことでよく利用されているか、それを把握することで逆にこれが残さないといけないサービスなんだというふうに、直接は書いてないですけど、意図としてはそういうつもりで設問を設定しています。それで、塩田庁舎に限定した書き方があまり良くはなかったかなというふうに思いました。意図としてはそこにあるので、ここでよく利用しているサービスと、ここにあと交通手段の課題だとか、そういったことも書くところを付けてもいいのかなと思ったんですけど。その他で、利用するにあたっての課題だとか。こういったところを拾っていただければと思っています。

委員長

時間も押してきましたので。事務局のほうから連絡等があればお願いします。

事務局	<p>すみません、一つだけ確認をさせていただいていいですか、今日委員の皆さまからアンケート調査についていろいろご意見いただきありがとうございました。本来であれば、4月10日の行政区長会の前に、こちら事務局が修正を行った後に委員の皆さんに最終的な確認をするのが本来ですけれども、ちょっと時間的に余裕もないもので、今日頂いたご意見を必ず反映をして、この修正については事務局に一任させていただいてよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>修正については皆さまのご意見を反映したうえで、修正するというので、事務局のほうに一任をお願いするというのでよろしいでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では、次第4. その他（1）次回の案内となっています。</p>
事務局	<p>次回の案内ですが、先ほどの実施概要等の説明の中にもありましたように、6月30日金曜日、14時から塩田公民館の2階視聴覚室のほうで予定をしたいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>ただいまの事務局の説明について、何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。では、その他事務局からご連絡があればよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>
委員長	<p>それでは先ほどの、協議事項（1）、（2）の項目についてお尋ねとかご確認とかございませんでしょうか。よろしいでしょうか。関連なご意見を本日はありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の予定議事については、すべて終了いたしました。以上をもちまして、第3回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会を閉会いたします。ご出席いただきました皆さま、本日は大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p>